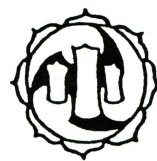


み や ま



1学期のまとめ 2学期に向けて

盛夏の候、皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

気象台の統計開始以降最も早い梅雨明けとなった今年。早すぎる梅雨明けに対応できないのか、セミの声も例年ほど聞こえてこない1学期末となりました。

保護者の皆さまには、日々熱中症対策をはじめお子様の健康・安全にご留意いただきありがとうございます。また、地域の皆さまには、子供たちへのあたたかい見守りに感謝申し上げます。

いよいよ夏休みが始まります。44日間の休み中も、引き続き子供たちの見守りを尾崎地区一帯となって取り組んでいただきますようお願いいたします。

休み中の過ごし方につきましては、裏面の内容をご覧くださいいただければと思います。

9月に全校児童と元気に会えることを楽しみにしています。

今後の学校行事について

1学期の学校行事につきましては、日々の安全対策、熱中症対策等を取りながら、予定どおり実施することができました。各行事へのご参観、有り難うございました。今後も、安全と教育活動の確保を念頭において、子供たちにとって楽しい記憶と確かな成長を刻んでいけるよう努めてまいります。

2学期以降の主な行事をお知らせします。状況によっては、各行事の変更等ご迷惑をおかけする点が出てこようかと思いますが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

<2学期の主な学校行事等について>

- 7月19日(土)～8月31日(日) 夏季休業期間
 - 8月22日(金) 全校登校日
 - 9月 1日(月) 2学期始業式
 - 2日(火) 自然学校(5年)～6日(土) 4泊5日
午前中授業(給食なし)
 - 3日(水) 給食開始
 - 6日(土) 振替授業日(全校)
 - 8日(月) 振替休業日(全校)
 - 10月 9日(木) 連合音楽会(特別クラブ参加予定)
 - 23日(木) 音楽発表会(保護者向け)
 - 30日(木) 修学旅行(6年)～31日(金) 1泊2日 奈良・京都
 - 11月29日(土) 尾崎を学ぶ日(全校授業日)
 - 30日(月) 振替休業日(全校)
 - 12月 3日(水) マラソンチャレンジ
- ※今後の状況により、変更することがあります。



思い出深く 安全な夏休みを

4 4 日間の夏休み。たくさんの楽しい思い出が作れるといいですね。また、保護者の皆さまにとっては、お子様とじっくり向き合うことのできる機会ともなります。楽しさは、健康に、そして安全に過ごせてこそそのもの。そのコツをお知らせします。

早寝・早起き・朝ごはん!

夏休みを健康に過ごすには、“学校に行く時と同じ時刻に起きる習慣を崩さない”ことに尽きます。それにプラスして元気に「おはよう」のあいさつをご家族の中でも交わしましょう。お盆を過ぎた頃から生活リズムが崩れがちになります。楽しいイベントが続く時期ですが、気持ちのよいあいさつと心地よいリズムで朝をスタートさせたいですね。

親子の会話と地域の声かけを

1 「いつ、どこへ、誰と、何時に帰宅」(特に、誰と過ごし、何時に帰宅するかを把握してください)

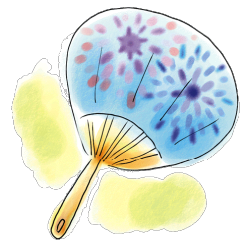
2 「ヘルメット、自転車の点検と整備」(ヘルメットを必ずつけて一旦停止)

3 「定期的な、ネット使用状況の確認」(取り返しの付かない大きなトラブルを避けてください)

「しまった!」と後悔しないために、防犯、交通事故、ネットトラブル…など上記の取組をお願いします。

そして、安全に過ごすために大事なのが、親子の会話を続けることです。「1 日に目を合せて数分会話をする」お子様の様子を普段から確認してください。また、“安全なインターネットの使い方”について話し合い、動画を視聴することも効果的です。

※別紙「話し合っていますか? 家庭のルール」のQRコードから、教材を閲覧してみましょう。



貴重な時間を

子供たちにとってその年一度っきりの夏休み。これは、保護者の皆さまにとっても同じことです。

大人からすれば、夏休みに関係なく休日はお仕事等から離れてゆっくりと過ごしたいことと思います。しかし、子供たちには、長期休みにしかできない貴重な時間がたくさん生まれます。そこで、休日・平日にとらわれず、子供との過ごし方を計画立てられてはいかでしょうか。会話をする時間、行動を共にする時間、子供に任せる時間…。あれこれと計画を立てたなあという思い出は、いつまでも心に残ります。

例えば、「毎週何曜日は、子供が夕ご飯の準備をする日」、「夏休みの宿題内容を知るために、親子で一緒に勉強する日」「ゲームをはじめ、テレビなどのメディアや情報に触れないで過ごす日」…。ちょっとした時間に取り組める過ごし方はいくつでもあります。

子供と一緒に過ごせる時間は短いものです。その期間を大切にしないといけなかったなあと後悔しないためにも、夏休みだからできる親子の体験を積極的に見つけましょう。それは、イベントのような大きな計画だけではなく、日常のいろんな場面においても工夫すれば見つかるものです。(案外、日常のイベントが大人になって心に残る場合もあります。) よい夏休みを!!

